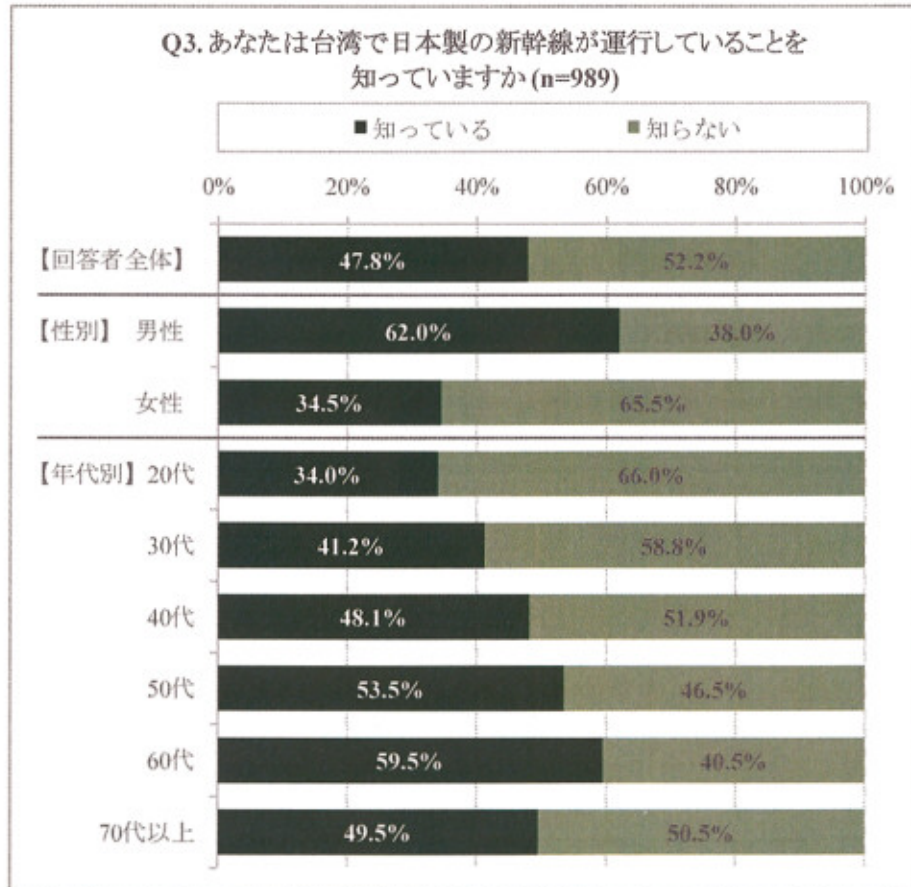


## 台湾に対する認知(2)

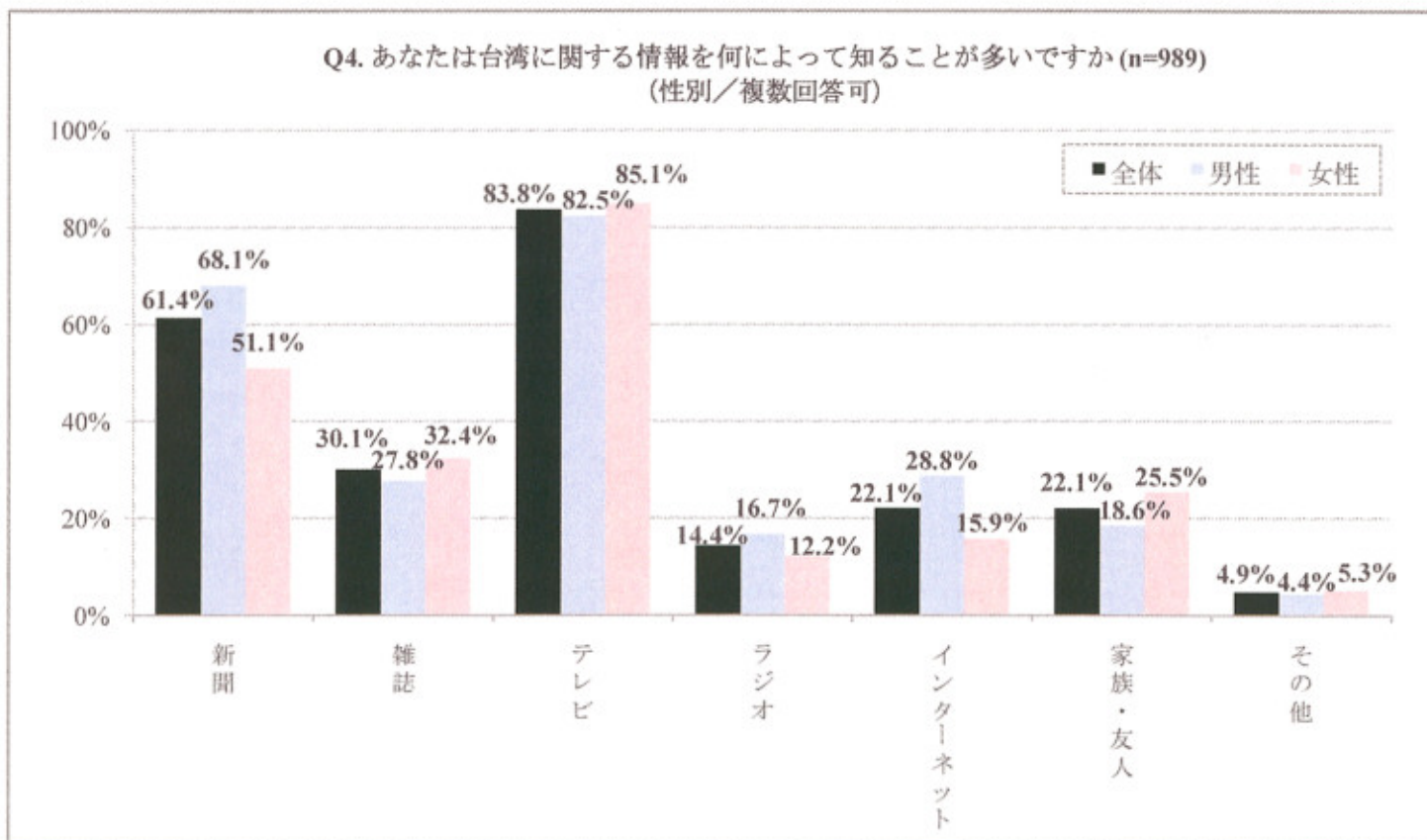
- 台湾で日本製の新幹線が運行していることを「知っている」との回答は、【性別】で27%の差が見られ、男性が62%、女性が35%であった。  
【年代別】では20代から60代で高年齢層ほど認知率が高い傾向が見られた。また、50代、60代の認知率がそれぞれ過半数を超えていた。



\*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

# 台湾の認知経路(性別)

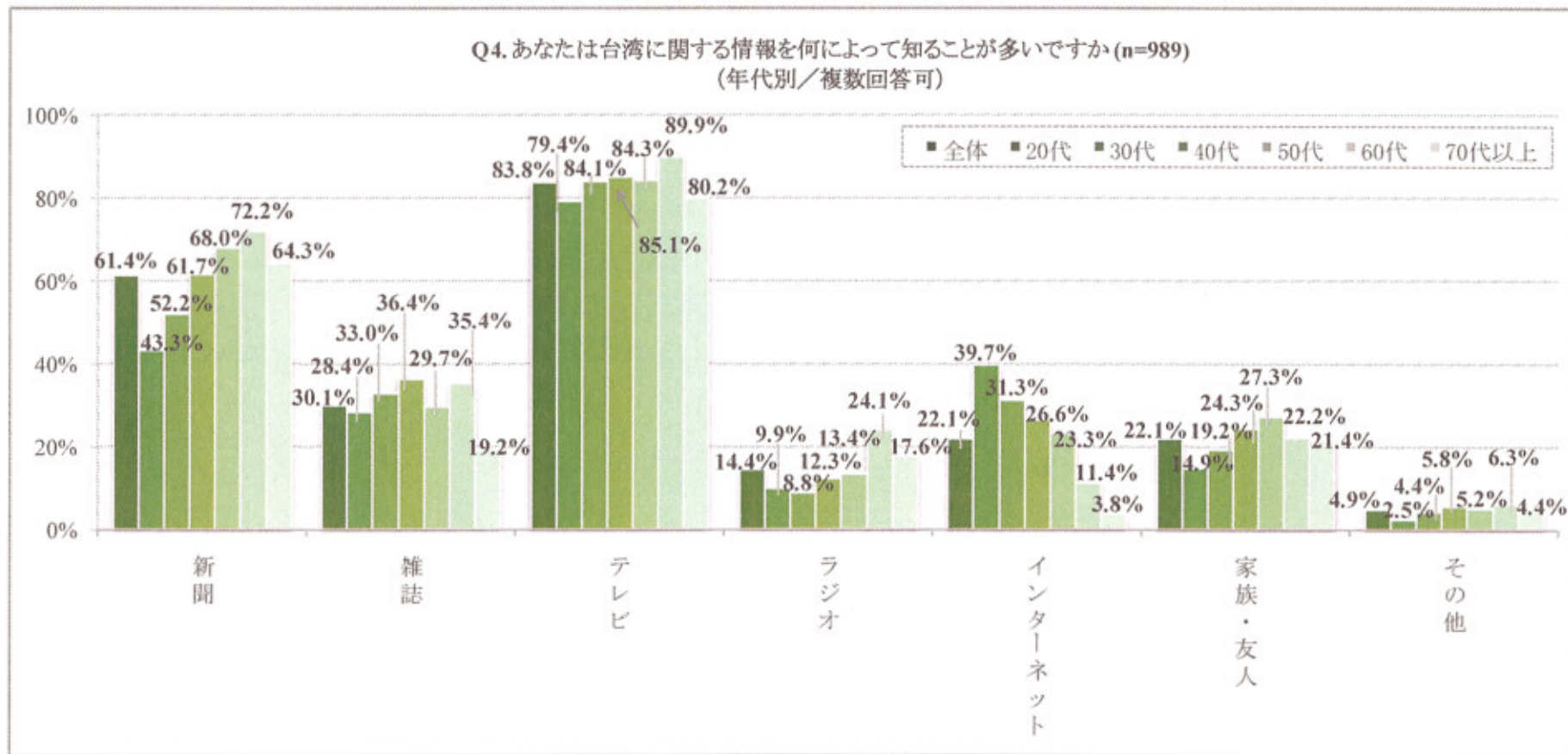
- 台湾に関する情報源を【性別】で見ると、男女とも「テレビ」との回答が8割超と最も多い結果となった。次いで、男性では「新聞(68%)」、「インターネット(29%)」、「雑誌(28%)」、女性では「新聞(51%)」、「雑誌(32%)」、「家族・友人(26%)」という結果となった。



\*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

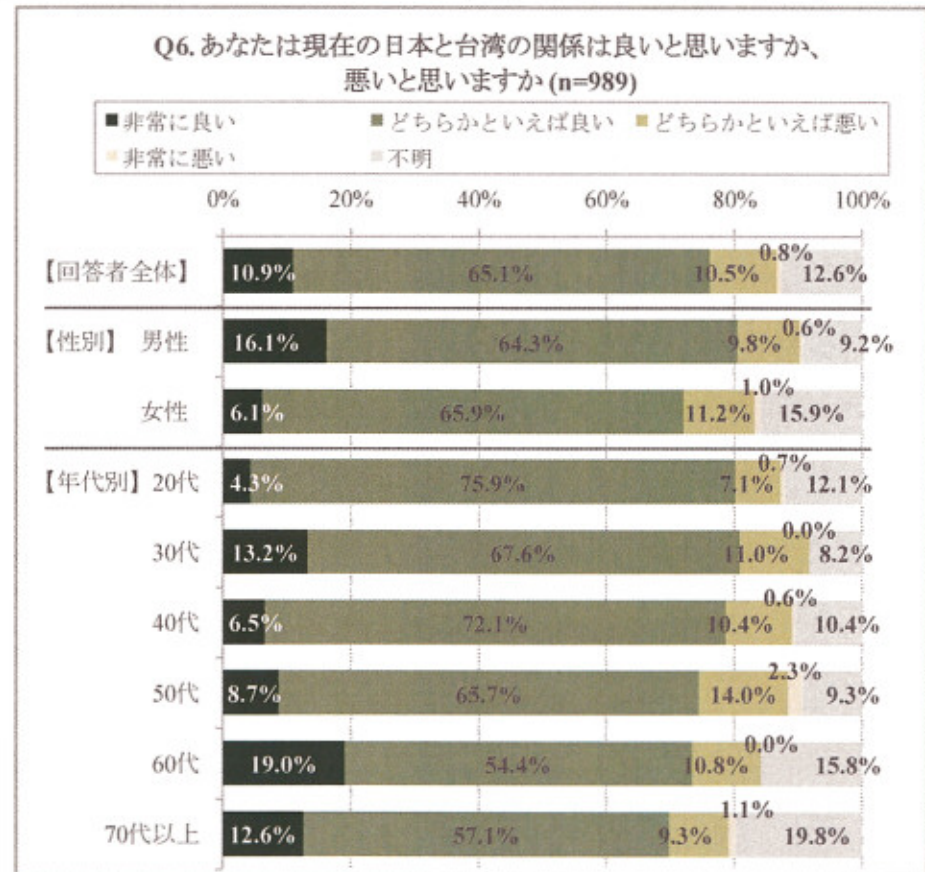
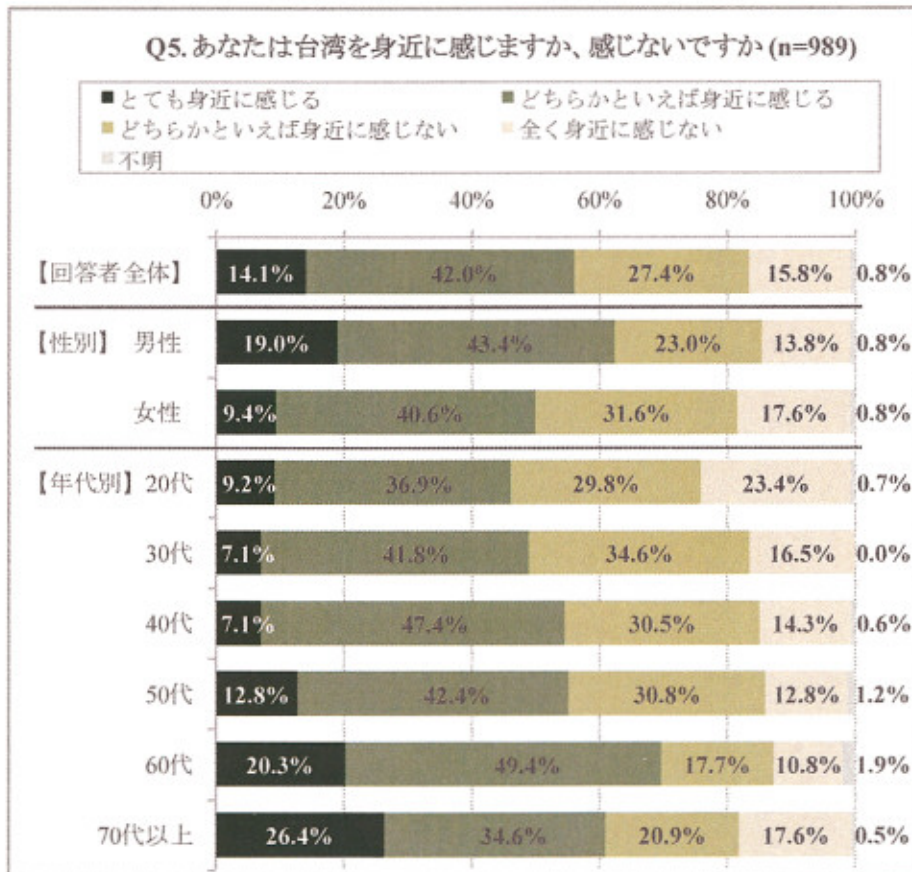
# 台湾の認知経路(年代別)

➤【年代別】でも、全ての年代で「テレビ」が最も多い結果となった。また、高年齢層では「新聞」が多く、若年層では「インターネット」が多い傾向が見られた。



# 台湾に対する意識(1)

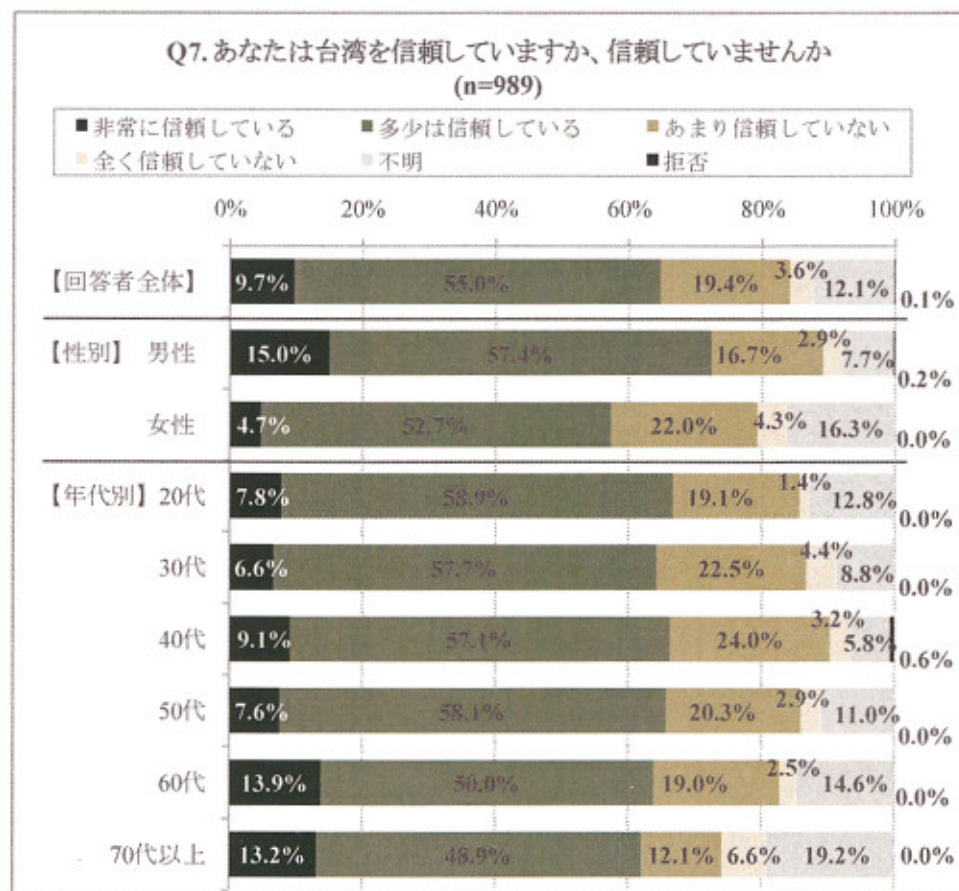
- ▶ 台湾を「非常に身近に感じる」との回答は、【性別】では女性(9%)より男性(19%)が多く、【年代別】では若年層より高年齢層の方が親近感を示す傾向が見られた。
- ▶ 現在の台日関係について「非常に良い」との回答は、【性別】で女性(6%)より男性(16%)の方が多く結果となった。【年代別】では高年齢層より若年層の方が良好な関係であるとの認識を示す傾向がみられた。「非常に良い」と「どちらかといえば良い」の合計が若年層の方が多い



\*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

## 台湾に対する意識(2)

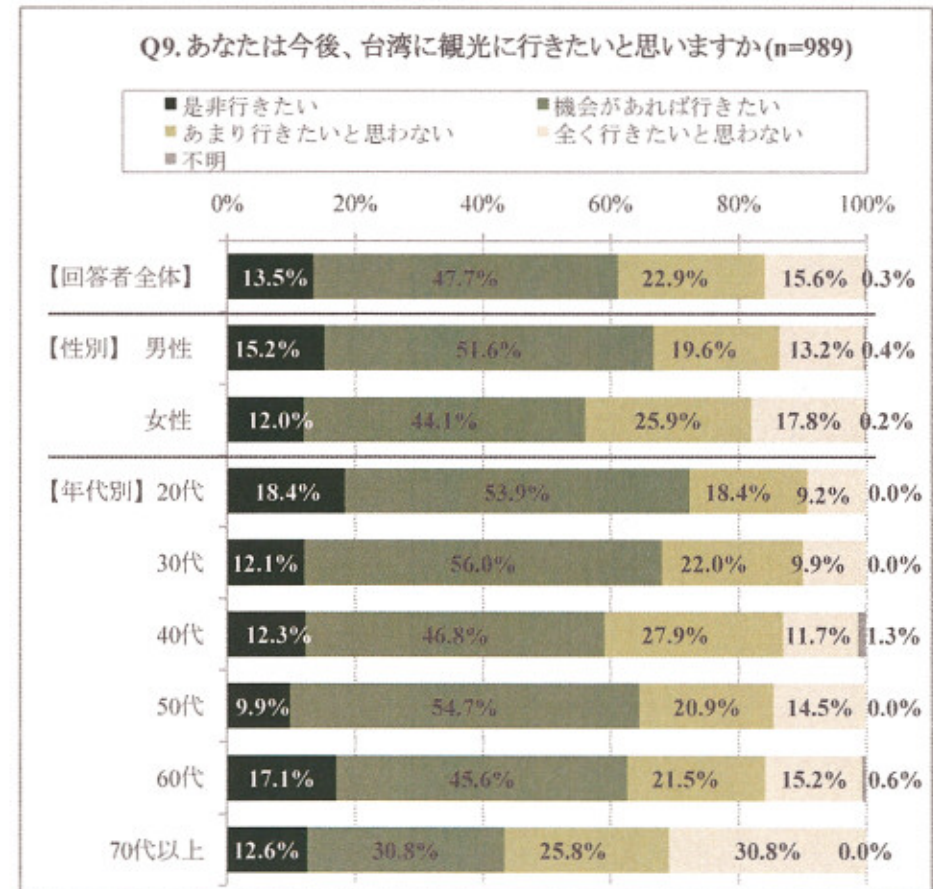
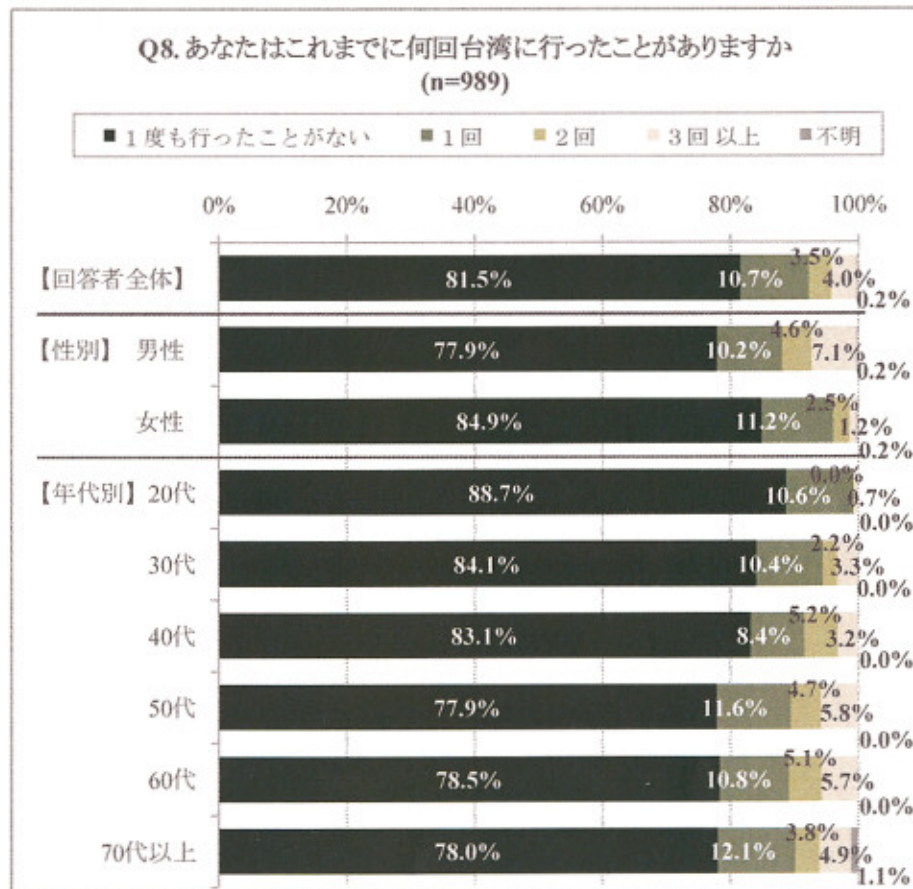
- 台湾を「非常に信頼している」との回答を【性別】で見ると、女性(5%)よりも男性(15%)の方が高い信頼感を示す結果となった。【年代別】では20代から50代で回答が1割を下回ったのに対し、60代、70代以上は1割を超えていた。ただし「非常に信頼している」と「多少は信頼している」を合計すると、年代別での大きな差は見られなかった。



\*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

# 台湾への渡航経験／観光意向

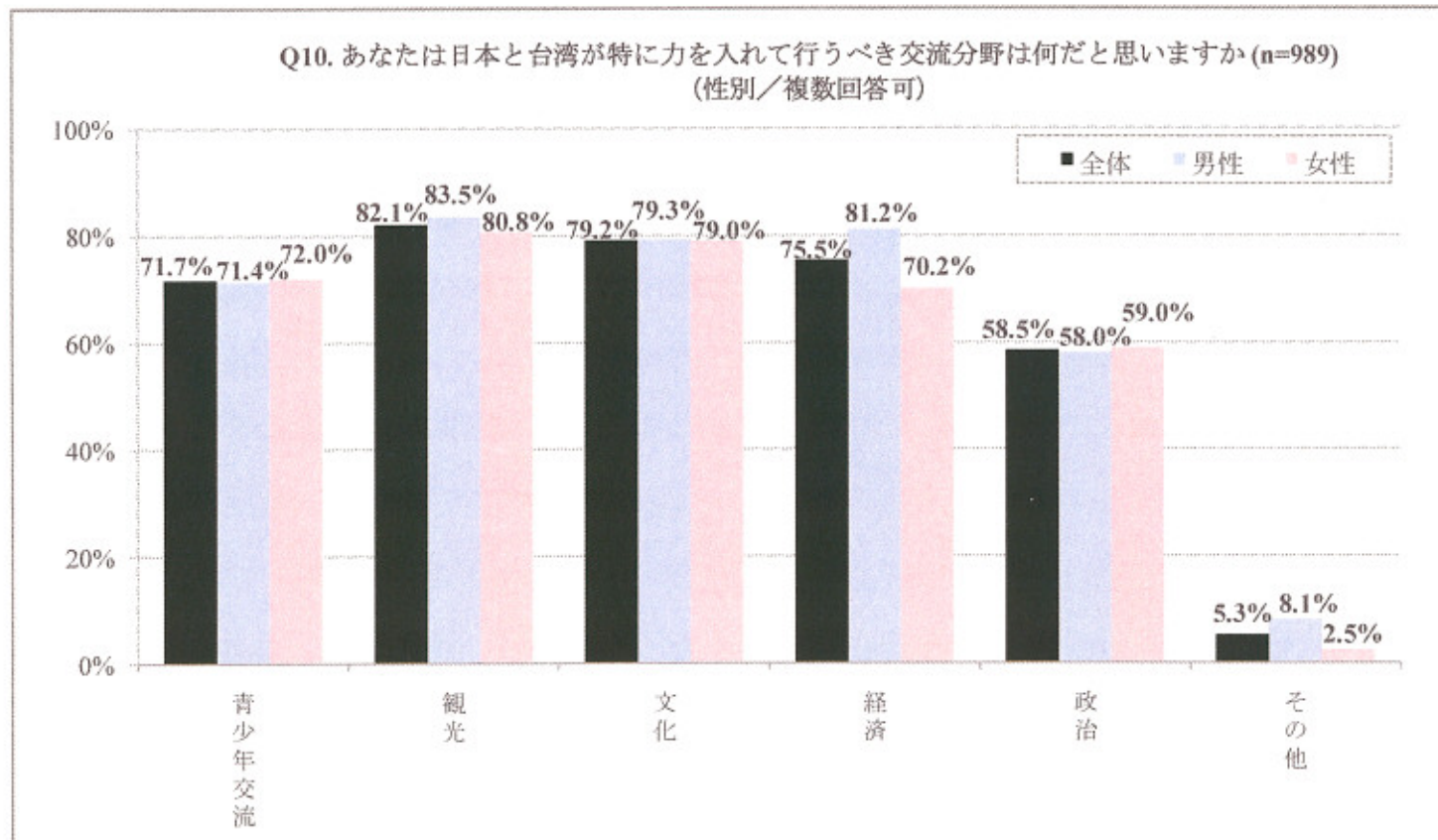
- ▶ これまでに台湾へ行った回数は、【性別】、【年代別】ともに「1度も行ったことがない」が最も多く、全ての区分で8割前後に達していた。
- ▶ 今後台湾へ観光に行きたいかの問いには【性別】、【年代別】とも「機会があれば行きたい」との回答が最も多かった。ただし、70代以上のみ「機会があれば行きたい(30%)」と「全く行きたいと思わない(30%)」が同率であった。



\*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

# 交流意向分野(性別)

▶ 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流分野は、男女とも「観光」との回答が最も多かった。次いで、男性では「経済(81%)」、「文化(80%)」、「青少年交流(71%)」が続き、女性は「文化(79%)」、「青少年交流(72%)」、「経済(70%)」という結果となった。



\*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

# 交流意向分野(年代別)

▶ 【年代別】でも、全ての年代で「観光」との回答が最も多い結果となった。また、「青少年交流」を除くすべての分野で高年齢層よりも若年層の方が高い交流意向を示す傾向が見られた。

